



○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○

### 3 方法

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

同じ研究をしたい人が追研究をできるように、詳しく書く

(1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (図2)。

(2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (図3)。

(3) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

写真や図は「書式」タブの「文字列の折り返し」で「四角形」を選択すると、文章に重ならないように配置できる

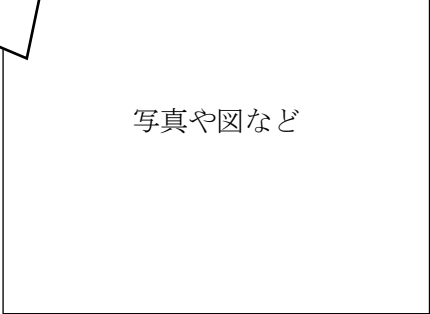


図2 調査対象A

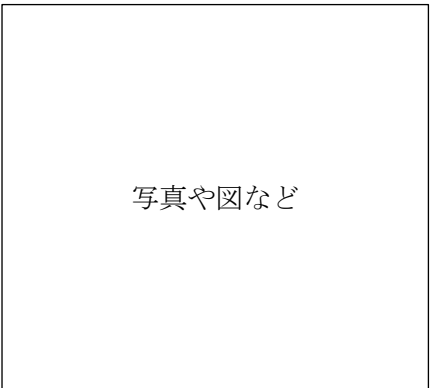


図3 調査対象B

### 4 結果と考察

○○○○○○○○○○○○○についての結果を以下に示す。



図4 △△について

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

「図4によると、○○○○であることが分かる。」あるいは「○○○と△△を比較すると□□となった(図4、図5)。」など、客観的に読み取れることを書く。

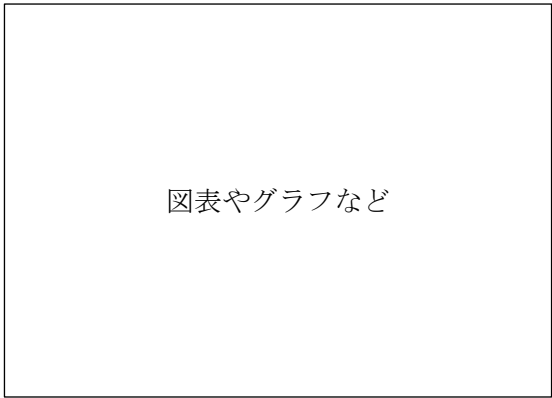


図5 ××についての結果

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

結果を踏まえて考察をおこなう。「～と考えられる」「～の可能性はある」「～ということが分かった」という言い方がよく使われる。

## 5 結論

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

本論文の結論を書く。  
研究目的や結果・考察を踏まえて、同じ事を再度書いてもよい。研究の改善点や今後の展望があれば書く。

## 6 参考文献

[1] 四高太郎 (2019) 『文武両道』 八稜星出版  
著者名 発行年 書籍名 出版社名

[2] 四高 SSH サイト名

<http://www.shiko.ed.jp/sample.html>

サイトの URL

2020年1月14日 最終閲覧日

※インターネットサイトの場合は書き換えや削除されることがあるので、最終閲覧日を記入しておかなければならない。

参考にした本やホームページ、引用したものはすべて挙げ、番号をつける。

## 7 謝辞

○○先生には研究を行うにあたっての指導や助言をしていただきました。また、○○さんは△△での協力をしていただきました。深く感謝いたします。

研究を手伝ってくれた人、助けてくれた人がいれば書く（謝辞は省略可）。  
文章はあくまでも一例です。